けいせん

2016・7・14

「互いに平和に過ごしなさい。」（マルコによる福音書 9章50節）
7月に覚える聖書のことばです。　毎年7・8月は平和について考える時をもちます。子どもたちに〝平和ってどんなことか知ってる？〟とたずねると、〝けんかをしないこと！〟〝なかよくすること〟〝いじわるしないこと〟というこたえが返ってきました。大人は平和、ときくと、「戦争」を思い出すことが多いですが、子どもたちは平和を考える時〝けんか〟〝なかよし〟というように、自分たちの生活の中でとらえることができるのですね。

先日、小学校の先生とお話しする機会がありました。福岡市では6月に平和学習が行われます。小学校でも平和についてたずねると、〝いじめをなくす〟〝差別しない〟などの声があるそうです。そして、その先生は〝そう。それも大切。でもあなたたちが今しなくてはならないことは勉強です。漢字が読めるようになったら新聞が読めるようになる。学ぶことで考える力がつく。正しいことを知ることができる。そのためには、やっぱり勉強することが大切なんです。〟と伝えるとのこと。〝自分の未来を、自分たちの平和をつくっていく権利をあなたは持っている。そのために必要なのが学ぶことと考えることだ〟とくり返し伝えておられます。日本でも18歳・高校3年生から選挙権が与えられるようになりました。それまでに正しく知る力、考える力、選びとる力をつけてほしいと願います。

では、幼稚園の子どもたちが今しなくてはならないことは。
私は、たくさん心を動かすことではないかと思うのです。うれしい、悲しい、たのしい、くやしい、おもしろい、つまらない、すき、きらい、満足、がっかり、喜び、不安、しあわせ、切ない・・・感情を表す言葉は言い尽くせない程あり、言葉にできない感情もいっぱいあります。子どもにとっては言葉で表せない気もちの方が多いでしょう。それを大すきな友だちとの遊びの中で十分に味わい、自分の思いを出し相手にも思いがあることを知る。その大前提は、安心できる場所で、ということ。絶対的な安心感のもとで様々な感情を出し、様々な感情にふれながら、自分は大切な存在であること、同じように相手も大切な存在であることを知ることが、平和をつくり出す一歩になるのではないでしょうか。

さあ、夏休み!!　ご家族でたくさん心を動かしてお過ごしくださいね。子どもと心を動かすことは、時にはイライラうんざりすることもあるかもしれません。でもそれ以上の喜びがあること、そしてそれが平和へとつながることを信じて。

「へいわってぼくがうまれてよかったっていうこと」（『へいわってどんなこと』浜田桂子 作）